

# 骨盤骨折患者における早期動脈塞栓術施行と必要輸血量および転帰についての観察研究に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 10 月 26 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

骨盤骨折患者における早期動脈塞栓術施行と必要輸血量および転帰についての観察研究

## 〔研究目的〕

骨盤骨折患者に対するカテーテルによる早期止血術の有効性と安全性を検討します。

## 〔研究意義〕

骨盤骨折患者に対するカテーテルによる早期止血術の有効性と安全性を検討することで、将来の骨盤骨折患者様の輸血量減量や予後改善に寄与する可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

2010 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日の期間に帝京大学医学部附属病院において外傷性骨盤骨折に対して診療をお受けになられた患者様を対象と致します。患者様の診療録データを検索し、患者登録フォーマットに従って検討に必要な項目（患者背景、損傷データ、診療時間経過、血液検査データ、輸血量、合併症、転機）を抽出し入力します。これらのデータを用いて治療方法と予後・転機について検討致します。なおこの研究は千葉大学を主とする他施設共同研究で千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学医員、富田啓介が千葉大学のサーバーでデータ管理を行います。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部 放射線科学講座、救急医学講座  
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究にあたり、個人情報は厳重に保護されます。得られた臨床データは匿名化して記憶媒体に保存します。記憶媒体にはパスワード設定、暗号化等を行い、セキュリティー対策を行います。

対象となる患者様で、研究への参加・ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部放射線科学講座 教授 近藤 浩史

研究分担者：帝京大学医学部放射線科学講座 臨床助手 菅原 利昌

東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-4098（代表） 内線 7408